



△飯山市が認定を目指す森林セラピー基地の実証実験が斑尾高原で行われた。森林を歩く際の人体の生理的反応を医学的・科学的に検証。被験者が歩く前後の脳活動測定や唾液採取等のほか、マイナスイオンなど各種指標を調査（8月30・31日）



△野沢温泉村との合併が破綻したことを受け開かれた最後の合併協議会（1月14日）



㊤「行政のスリム化と受益者負担を見直す」「人口2万5000人を維持し、さらに増加を目指す」ことを2本柱に掲げた飯山市自立のための市民会議の提言書を受ける木内市長（10月28日）

㊦高校再編を巡って開かれた、県教育委員会との意見交換会（8月25日）



△雪国ならではの食文化を未来へ引き継ぎたいと出版された「食の風土記」の発刊記念・食の文化祭。昔ながらの郷土食が所狭しと並んだ（7月30日）



㊧いつ襲ってくるか予測できない災害に備えて、外様地区で総合防災訓練を実施（9月3日）



○斑尾高原～牧峠50キロ区間の信越トレイル運用開始。信越トレイルフェスティバル2005開催（7月2日）
○新幹線飯山駅と周辺道路・駐車場などの整備の基本的な方針や公共施設のデザインを検討する「北陸新幹線飯山駅周辺都市空間デザイン会議」が本格始動。第3回幹事会開催（7月4日）
○「食の風土記」発刊記念・食の文化祭開催（7月30日）
○和紙のしごと大賞受賞作品決定。市街地各商店街で入選作品展示（8月9日）
○飯山市表彰式。功労表彰6人、栄誉賞3人と1団体（7月30日）
○県の高校統合案への対応を協議する「飯水岳北地区高校の将来を考える会」設立総会。県教育委員会との意見交換会を開催（8月8日）
○桜広場交流施設千曲川が「道の駅」に登録承認（8月10日）
○第2回飯山市子ども議会。中学生が活発な提案（8月10日）
○第1回いいやま灯籠まつり。降雨により規模縮小で開催（8月12日）
○集中豪雨災害発生。記録史上最大の雨量を観測。市内で家屋半壊・浸水・崩落相次ぐ（8月16日）
○森林の癒し効果を医学的に調査。森林セラピー基地認定に向けて実証実験行っ（8月30・31日）
○意欲ある民間事業者が旅産業関連の新規産業を起業する場合に支援する「先導的旅産業創出支援事業」始まる（9月）
○飯山市中学校適正規模等審議会開催。市内3中学校の統合も視野に入れた適正な学校規模や配置等について審議（9月1日）
○日本医科大学の研究班が市内で森林浴が人体にもたらす効果に関する実験を行う（9月2～4日）
○外様地区活性化センター周辺で総合防災訓練（9月3日）
○市営住宅「本町西団地」完成、12月より入居開始。
○第1回森林セラピー基地候補全国サミット（10月15・16日）
○花フェスタ「寺町花街道」（10月15日）
○飯山市自立のための市民会議、提言書を市長に提出。「行政のスリム化と受益者負担見直し」、「人口2万5000人維持とさらなる増加を目指す」ことを2本柱に（10月28日）
○秋津地区活性化センター改修工事完了（10月30日）
○県立高校再編整備問題に関して4首長がまとめた独自案が「飯水岳北地区高校の将来を考える会」総会で一本化できず。推進委員会への提案は、個別対応に（11月）
○地域学習の拠点施設「ふるさと館」完成（11月18日）
○飯山市自立懇談会を開催（11月19日・12月1日）
○新幹線まちづくりシンポジウム（11月27日）
○飯山地方の12月の積雪量が、長野地方気象台の統計開始以来、過去最高を記録。市民生活が混乱（12月）

市政1年間の出来事

昨年を振り返って

昨年の市政を振り返ると、特徴的な動きがいくつか見られました。

野沢温泉村との合併がならず、自立へと歩み始めた飯山市。市民の目線に立った行政運営の見直しを進めるため、市民公募を含めた「飯山市自立のための市民会議」を設置し、10月下旬には夢の描ける飯山市づくりに向けた提言を頂きました。

平成26年度末開業予定の北陸新幹線への準備も本格化しました。土地区画整理事業と関連都市計画道路の計画決定を行ったほか、新幹線活用の地域振興策として「信州菜の花地域ウェルカムプラン策定調査報告書」による提言や、北信6市町村の広域経済発展につなげるための検討が始まりました。また、新幹線飯山駅と周辺道路、駐車場などの整備方針や公共施設のデザインの検討も精力的に行われました。

旅産業分野では、「健康」をキーワードとした癒しの旅を提供するため、信越トレイルの運用開始や、森林セラピー基地としての認定を目指す実証実験の受け入れなど、着実な歩みを進めました。



△桜の桃色、菜の花の黄色、山の残雪の白色。妙高山や斑尾山を背景とした郷愁を誘う景観を眺めに、多くの観光客が訪れた菜の花まつり（5月3～5日）

⇒斑尾高原～牧峠間50kmに及び信越トレイルが運用を開始。全行程を数日に分けて歩くスルーハイクツアーが記念イベントとして開かれた（7月6日）



△森林セラピー基地候補全国サミット（10月15・16日）



△地域学習の拠点施設「ふるさと館」が完成。郷土の自然や歴史、文化に直接触れられる体験の場とするほか、次世代への伝承や文化遺産の収蔵にも活用していく（11月18日）

▽市営住宅「本町西団地」が完成。1棟20戸4階建て。12月より入居を開始した。



○飯山地域情報サイト「よろしいやま」公開（1月）
○小菅松子含む「北信濃の柱松行事」が国の選択無形民俗文化財に（1月）
○最後の飯山市・野沢温泉村合併協議会（1月14日）
○飯山市・信州大学連携協議会（1月21日）
○第23回いいやま雪まつり。第54回全国高等学校スキー大会で好成績を収めた飯山南高校スキー部がメイン会場まで凱旋パレード（2月12・13日）
○スペシャルオリンピックス開催。市内では選手団が民宿や家庭などに滞在する交流プログラム（2月22～25日）
○いいやま湯滝温泉リフレッシュオープン（3月）
○飯山市版エンゼルプラン「家庭教育応援書」発刊（3月）
○飯山市栄誉表彰式を実施。スキーで活躍の飯山南高校と同校クロスカントリースキー男子リレーチームを表彰（3月16日）
○大聖院跡地保全・文化財収蔵庫建設「修験の里小菅整備事業」完了（3月24日）
○「飯山市森林セラピー協議会」設立（3月25日）
○北陸新幹線飯山駅開業に向け、飯山市都市計画審議会の審議を経て、都市計画道路等の都市計画決定（3月31日）
○西回り線と静岡バイパスを結ぶ幹線道路 市道21356号道路が完成（4月4日）
○区長総会（4月22日）
○県の組織再編案に盛り込まれた飯山建設事務所の支所格下げに対して、岳北4市村が合同で存続要望書を県に提出（4月26日）
○道の駅「花の駅千曲川」の農産物直売所「千曲川」が店舗拡大（4月28日）
○「血液サラサラウォーキング」事業を展開（5月）
○市民満足度調査を実施。満足度1位は上下水道整備、重要度1位は防災・防犯・交通安全に（5月）
○北竜湖畔に「いいやま北竜温泉文化北竜館」完成。学校法人文化学園が建設（5月2日）
○いいやま菜の花まつり（5月3～5日）
○飯山市自立のための市民会議発足（5月18日）
○飯山市北陸新幹線建設受入促進市民協議会総会開催。協議会名称を「北陸新幹線飯山駅周辺まちづくり市民協議会」と変更し、新幹線開業を見据えた活動に軸足移す（5月17日）
○森林セラピー基地候補全国ネットワーク会議設立総会で、木内市長が代表世話役に承認（6月17日）
○藤沢・桑名川簡易水道通水式（6月30日）
○県教育委員会が検討を進める県立高校改革プランで、市内3高校を将来的に統合するとの案が示されたことから、対応を協議するため関係者による懇談会を開催（7月1日）
○飯山市・信州大学連携協議会（1月21日）
○第23回いいやま雪まつり。第54回全国高等学校スキー大会で好成績を収めた飯山南高校スキー部がメイン会場まで凱旋パレード（2月12・13日）
○スペシャルオリンピックス開催。市内では選手団が民宿や家庭などに滞在する交流プログラム（2月22～25日）
○いいやま湯滝温泉リフレッシュオープン（3月）
○飯山市版エンゼルプラン「家庭教育応援書」発刊（3月）
○飯山市栄誉表彰式を実施。スキーで活躍の飯山南高校と同校クロスカントリースキー男子リレーチームを表彰（3月16日）
○大聖院跡地保全・文化財収蔵庫建設「修験の里小菅整備事業」完了（3月24日）
○「飯山市森林セラピー協議会」設立（3月25日）
○北陸新幹線飯山駅開業に向け、飯山市都市計画審議会の審議を経て、都市計画道路等の都市計画決定（3月31日）
○西回り線と静岡バイパスを結ぶ幹線道路 市道21356号道路が完成（4月4日）
○区長総会（4月22日）
○県の組織再編案に盛り込まれた飯山建設事務所の支所格下げに対して、岳北4市村が合同で存続要望書を県に提出（4月26日）
○道の駅「花の駅千曲川」の農産物直売所「千曲川」が店舗拡大（4月28日）
○「血液サラサラウォーキング」事業を展開（5月）
○市民満足度調査を実施。満足度1位は上下水道整備、重要度1位は防災・防犯・交通安全に（5月）
○北竜湖畔に「いいやま北竜温泉文化北竜館」完成。学校法人文化学園が建設（5月2日）
○いいやま菜の花まつり（5月3～5日）
○飯山市自立のための市民会議発足（5月18日）
○飯山市北陸新幹線建設受入促進市民協議会総会開催。協議会名称を「北陸新幹線飯山駅周辺まちづくり市民協議会」と変更し、新幹線開業を見据えた活動に軸足移す（5月17日）
○森林セラピー基地候補全国ネットワーク会議設立総会で、木内市長が代表世話役に承認（6月17日）
○藤沢・桑名川簡易水道通水式（6月30日）
○県教育委員会が検討を進める県立高校改革プランで、市内3高校を将来的に統合するとの案が示されたことから、対応を協議するため関係者による懇談会を開催（7月1日）